

車種別取付資料

車両情報 トヨタ ノア・ヴォクシー ZRR7#系 1/3ページ ES-89 Light **Type** N.L. **Opt.**

平成19年7月～ ① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 付き車のみ

① 注意事項

- スマートキータイプのエンジンイモビライザーシステムが装着されています。
- 取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのES-89ProLight II PSi (商品コード: ESL40) のみ。
- PSI003取付ハーネスを使用します。
- オートマチック車認識設定のあとスマートキーの登録作業が続けて必要になります。
- 詳細は、取扱説明書を参照してください。

① CN2ハーネスの各配線の取り付けは2/3ページを、セキュリティ機能等を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合のドア検出配線方法と、トヨタ用多重アダプターを取り付け時のCAN (H&L) 配線の接続先は、3/3ページをそれぞれ参照してください。

① カバー類の取り外し方

- ① 左右のサイドステップカバーを外す
- ② 左右のサイドカバーを外す
- ③ ロアカバーを外す…ネジ3本
- ④ コラムカバーを外す…ツメに注意して下側に引っ張る。

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。(2/3ページ参照)

オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

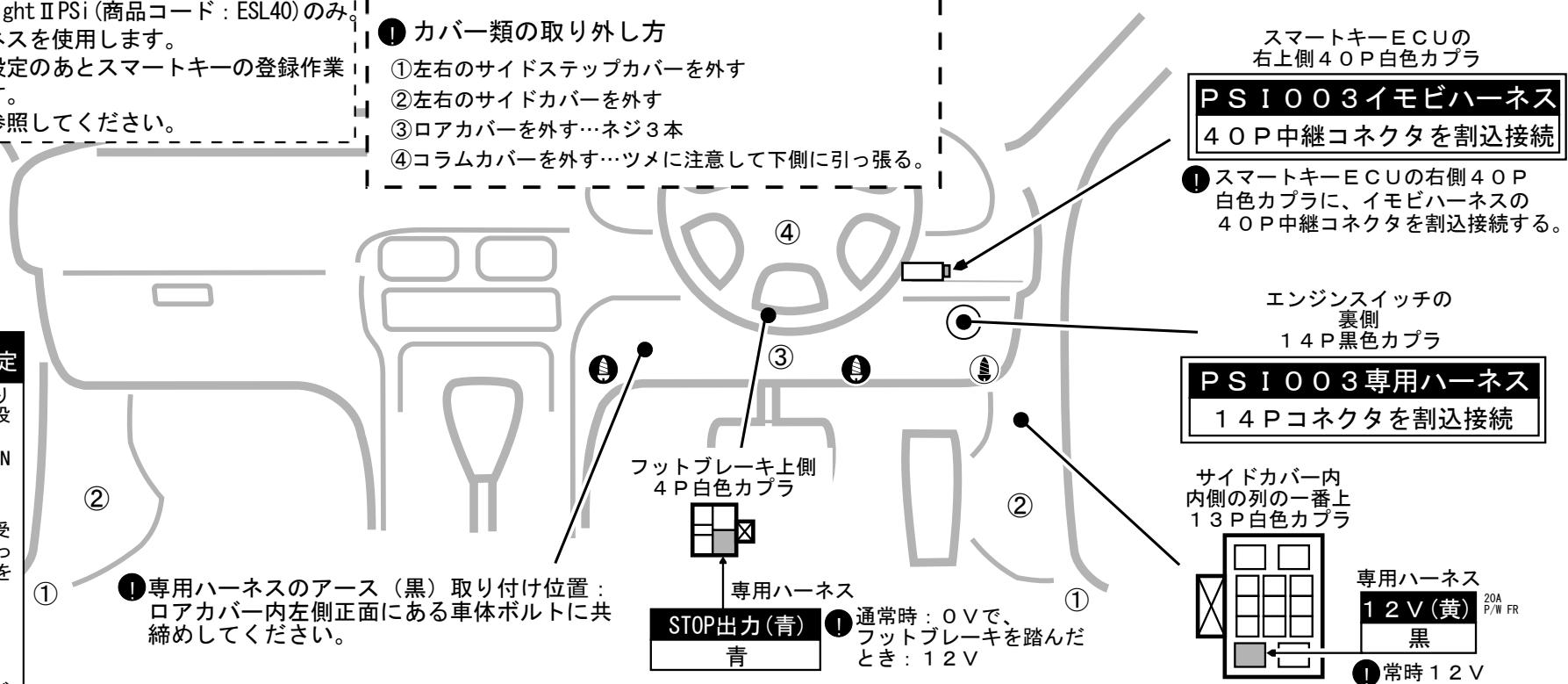
※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (専用ハーネスの配線色)
車両配線色

専用ハーネス
T133S

① 取り付け方法

- ① 専用ハーネスの14P中継コネクタを、上記のカブラに割込接続する。
- ② イモビハーネスを上記の40Pカブラに割込接続する。
- ③ 黄色/青色の2本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。)
- ④ アース (黒色) を、指定位置に固定する。
- ⑤ 12P赤色コネクタをリレーユニット (受信機) のCN1に接続する。
- ⑥ 3Pコネクタをイモビハーネスの3Pへ、6PコネクタをCN-3からの6Pカブラに接続する。



スマートキーECUの
右上側40P白色カブラ
PSI003イモビハーネス
40P中継コネクタを割込接続

① スマートキーECUの右側40P白色カブラに、イモビハーネスの40P中継コネクタを割込接続する。

エンジンスイッチの裏側
14P黒色カブラ
PSI003専用ハーネス
14Pコネクタを割込接続

サイドカバー内
内側の列の一番上
13P白色カブラ
専用ハーネス
12V (黄) 20A P/W FR 黒
① 常時12V

車種別取付資料

車両情報 トヨタ ノア・ヴォクシー ZRR7#系 2/3ページ ES-89 Light **Type** N.L. **Opt.**

平成19年7月～ ① プッシュボタンスタートシステム（スマートキー）付き車のみ

センターメーター裏側
3 2 P 白色カプラ

L 端子(茶)
薄緑

① 特有の注意事項

① セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、CN2のドア検出配線（紫）は、別売のドア信号検出ユニットⅡ（EP131）を使用して、必ず3/3ページに指定したおりに接続してください。
なお、全てのドア開閉検出を行わない場合は、運転席ドア線（本ページに記載）に接続してください。

② トヨタ用多重アダプターを取り付けていない場合は、エンジンスタートでアイドリング中は、スマートエントリー操作等でのドアロック/アンロックは作動しません。また、エンジンスタートによるアイドリング停止後は、スマートエントリー操作（ドアノブを握る）でアンロックはできません。…STOP操作でエンジンを止めてから、キーレスエントリーでアンロックをしてドアを開けてください。
なお、エンジンスタートのリモコンによるアンロック操作は、アイドリング中も停止後も作動します。

① CN2のPポジション（青色）配線を、必ず接続してください。
また、左下記の手順でフットブレーキを使用して、A/T車設定を行ってください。

サイドカバー内
内側の列の一番上
1 3 P 白色カプラ

アンロック(黄)
緑

ドアロック(灰)
赤

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

フットブレーキ上側
4 P 白色カプラ

P ポジション(青)
青

① 必ず配線してください。
(通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V)

コラム下側
1 2 P 黒色カプラ

ホーン(緑)
橙

① セキュリティ機能を使用する場合は配線

サイドカバー内
外側の列の上から2番目
1 2 P 白色カプラ

① 運転席ドア開閉のみ検出。
運転席ドア(紫)
白

① 機能付き車のみ配線
オートライト(白)
白

① トヨタ用多重アダプターを取り付けする場合
CN2のドアロック（灰）・アンロック（黄）の配線は、ここ（車両側）へ接続せずに、多重アダプターハーネスの灰色と黄色に接続してください。

① 配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色

車種別取付資料

車両情報	トヨタ ノア・ヴォクシー 平成19年7月～	ZRR7#系	3/3ページ	ES-89 Light Type N.L. Opt.
------	--------------------------	--------	--------	---

❶ プッシュボタンスタートシステム（スマートキー）付き車のみ

❶ セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、別売のドア信号検出ユニットⅡ（EP131）を使用して、CN2のドア検出配線（紫）は、必ず下記の5箇所に分岐接続してください。

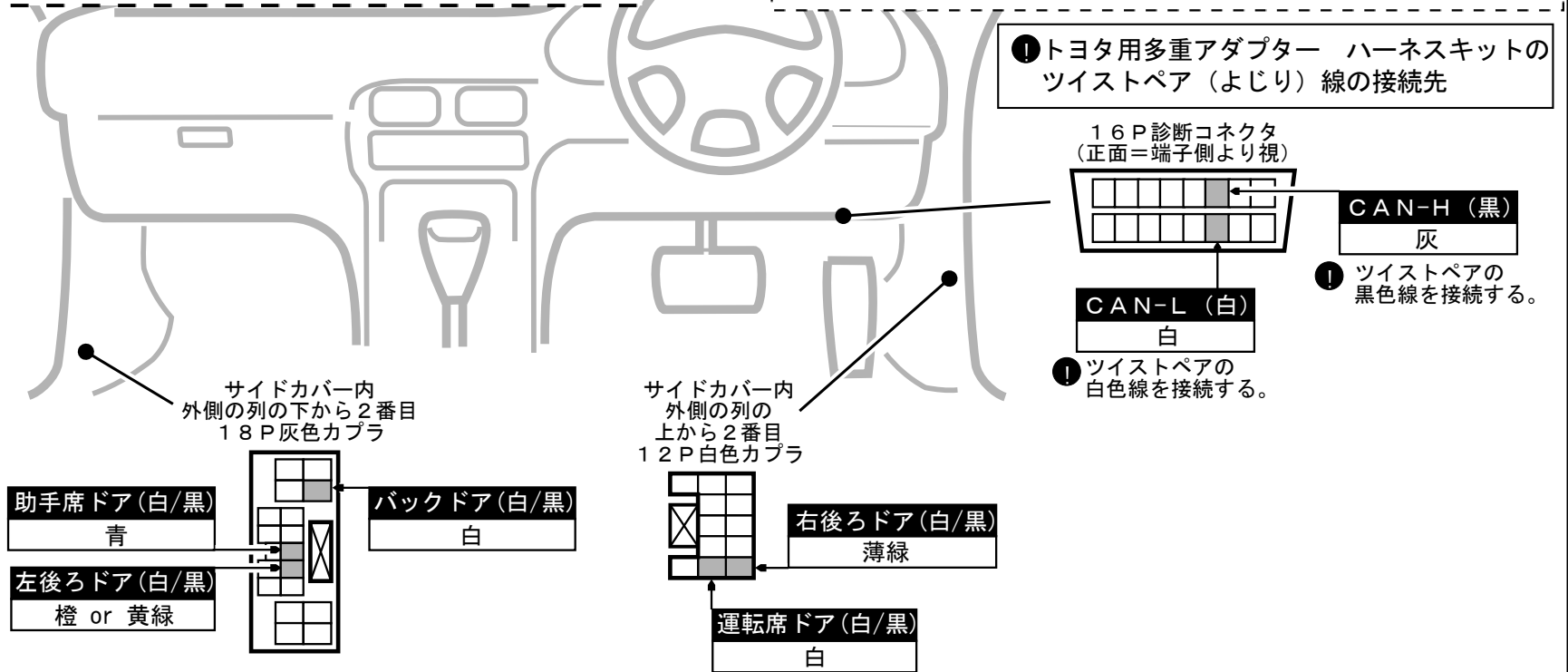
❶ 特有の注意事項…上記に該当する場合

- ※CN2のドア検出配線を、必ず本ページで指定された位置に接続してください。
- ※ドア検出配線を、指定された箇所以外の場所に接続された場合、以下の機能等が使用できません。
- ①セキュリティ機能は、使用できません。
- ②オートロック機能は、使用できません。

❶ 警告

- ・CAN-L、及びCAN-Hを診断コネクタの配線に接続する際は、確実に間違いの無いように作業を行ってください。
- ・接続先を間違えると、車両に重大な影響を及ぼす場合があります。

❶ トヨタ用多重アダプター ハーネスキットのツイストペア（よじり）線の接続先



配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色

❶ この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

純正オートアラーム（ディーラーオプション）の対応について

共通追補版

❶重要：純正の通報型オートアラームは、トヨタ用多重アダプターとの同時装着ができません。

平成21年 3月 1日

■概要説明

トヨタ用多重アダプターと同時装着（併用）する場合の取り付け方法と注意事項

平成22年 3月15日修正

トヨタのプッシュスタートシステム（スマートキー）付き車に、ディーラーオプションの純正オートアラーム（通報型を除く）と、トヨタ用多重アダプターを同時装着する場合は、必ず別売のオプションリレー（EPO52）を使用して下記のとおり接続をしてください。

- ES-89PicoPS+多重アダプターセット（ESP32）
- トヨタ用多重アダプター（EP133）

下記の対応（オプションリレーの取り付け）を行わずに同時装着（併用）されると、エンジンスターターによる始動はできますが、車両の動作が一部不安定になり、トヨタ用多重アダプターの機能が正常に作動しません。

- エンジンスターターによるアイドリング中に、車両のルームランプの明るさが変動します。（明るくなる・暗くなるを繰り返す）
- 同じくアイドリング中に、スマートエントリーまたはキーレスエントリー操作によるドアロック／アンロックが作動しません。
- 取り付けする車両により、上記以外の現象（車両側の誤作動等）が出る場合もあります。

■取り付け説明（対応方法）

オプションリレーを下記のとおり接続してください。
なお、取り付けにあたっては、純正オートアラームの取付要領書も参照して作業を進めてください。

- ①純正オートアラームの用品ハーネスで、「タジュウアダプタ」に接続する5Pコネクタを探す。
- ②5Pコネクタの3番端子のハーネス（バス+B）を、コネクタから50mm程度の位置でカットする。
- ③カットした3番端子のハーネスに、オプションリレーの配線を右下記の接続図のとおり割込接続する。
- ④オプションリレーの残りの配線を、右下記の接続図のとおり接続する。

純正オートアラームの取付要領書より

❶取付要領書の後半にある配線図で、以下に指示した部分をカットして、オプションリレーを割込接続します。

